

# 在宅ワーカーの活用に関する アンケート調査

令和5年7月

石川県県民文化スポーツ部女性活躍・県民協働課

# 調査概要

**目的** 「女性の多様な働き方への支援事業」の実施にあたり、  
県内企業における在宅ワーカー活用に関する実態や  
ニーズを把握する

**調査期間** 令和5年6月1日～30日

## 調査対象 県内企業1,000社

- ・日本標準産業分類（平成25年10月改定）に掲げる次の産業のうち、「農業、林業」、「漁業」、「鉱業、採石業、砂利採取業」、「公務（ほかに分類されない）」、「分類不能の産業」を除く、別表の産業に分類され、常用労働者を10人以上雇用する県内企業
- ・なお、地域別、産業別、規模（従業員数）別のバランスを考慮し、無作為に抽出した

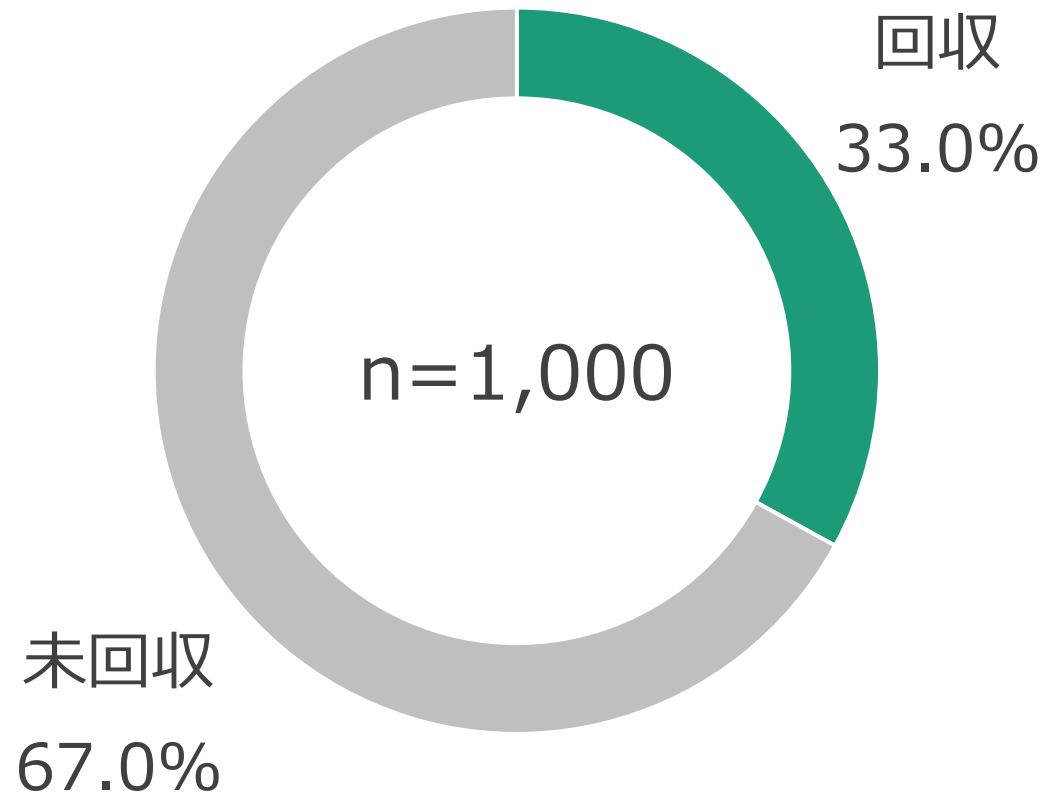
# 調査概要

(別表)

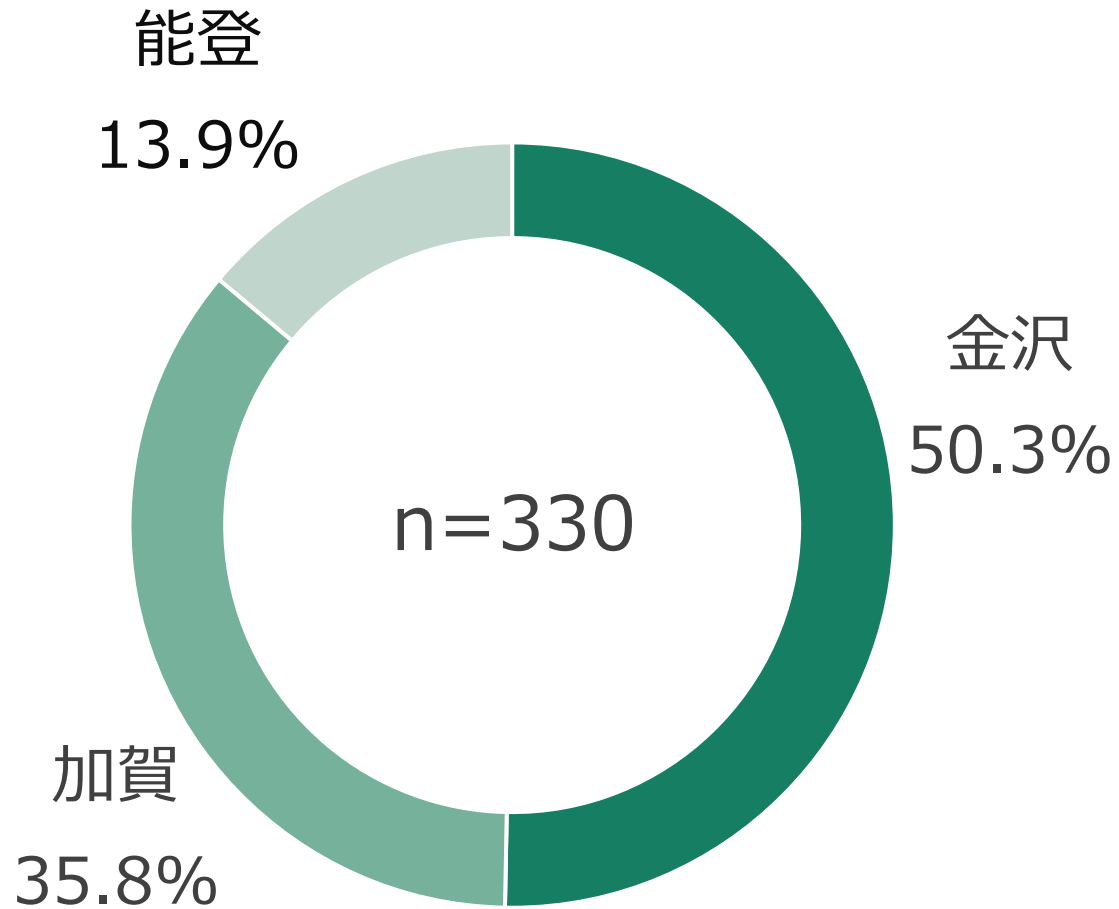
- ・ 建設業
- ・ 製造業
- ・ 電気・ガス・熱供給・水道業
- ・ 情報通信業
- ・ 運輸業,郵便業
- ・ 卸売業,小売業
- ・ 金融業,保険業
- ・ 不動産業,物品賃貸業
- ・ 学術研究,専門・技術サービス業
- ・ 宿泊業,飲食サービス業
- ・ 生活関連サービス業,娯楽業
- ・ 教育,学習支援業
- ・ 医療,福祉
- ・ 複合サービス事業
- ・ サービス業（他に分類されないもの）

# 回収率

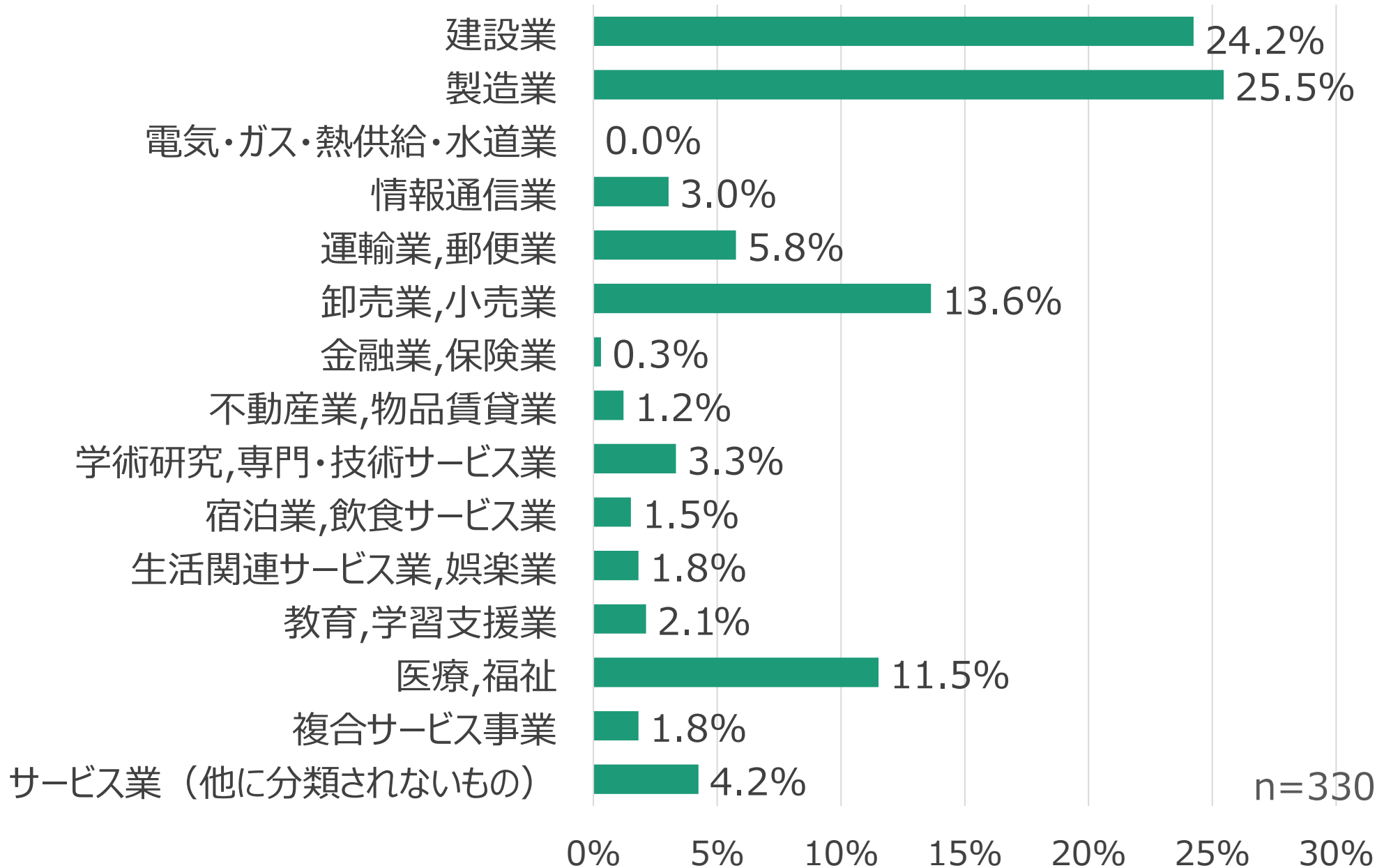
330/1,000社 (33.0%)



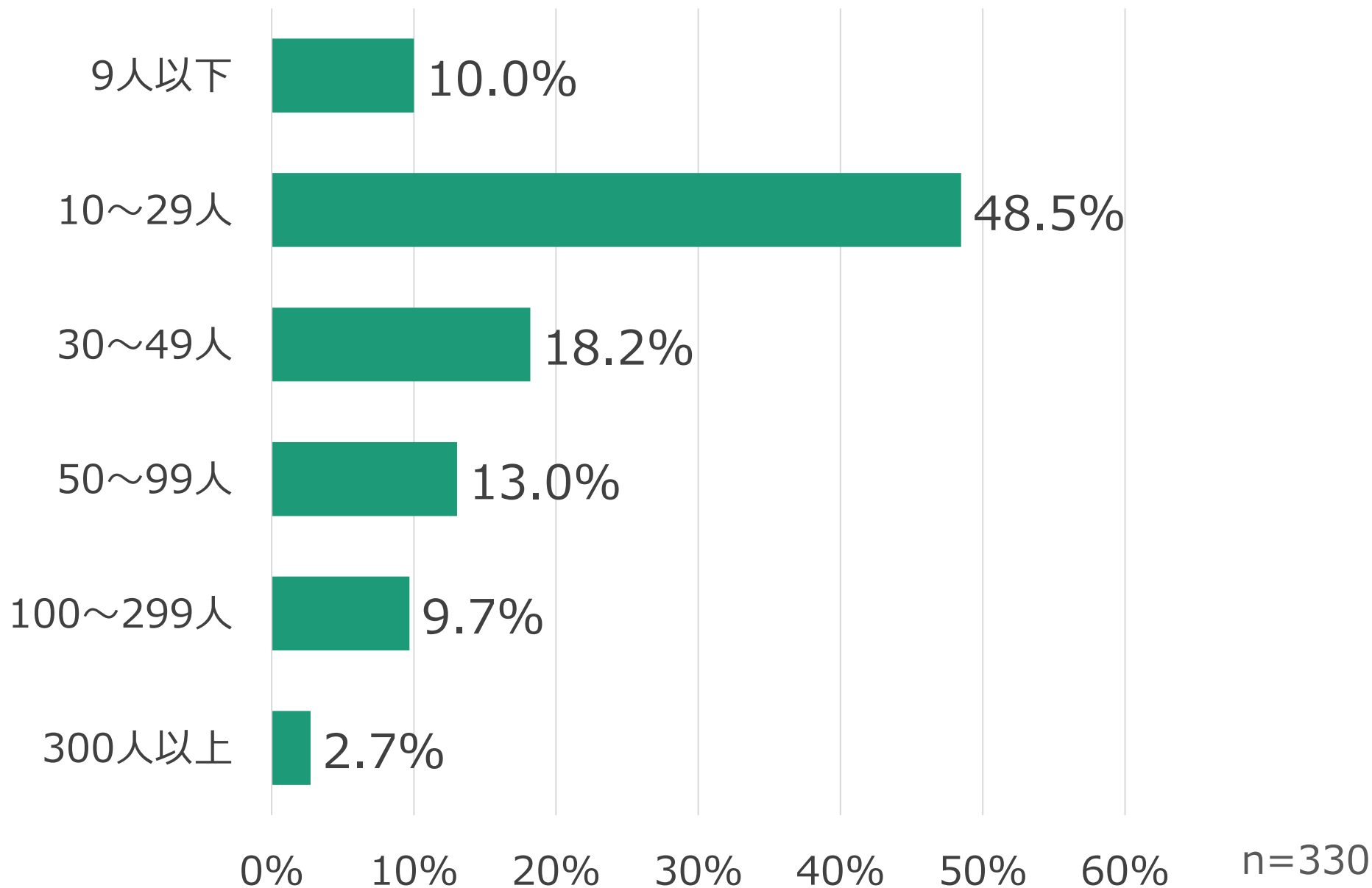
# 回答企業の属性 地域



# 回答企業の属性 業種



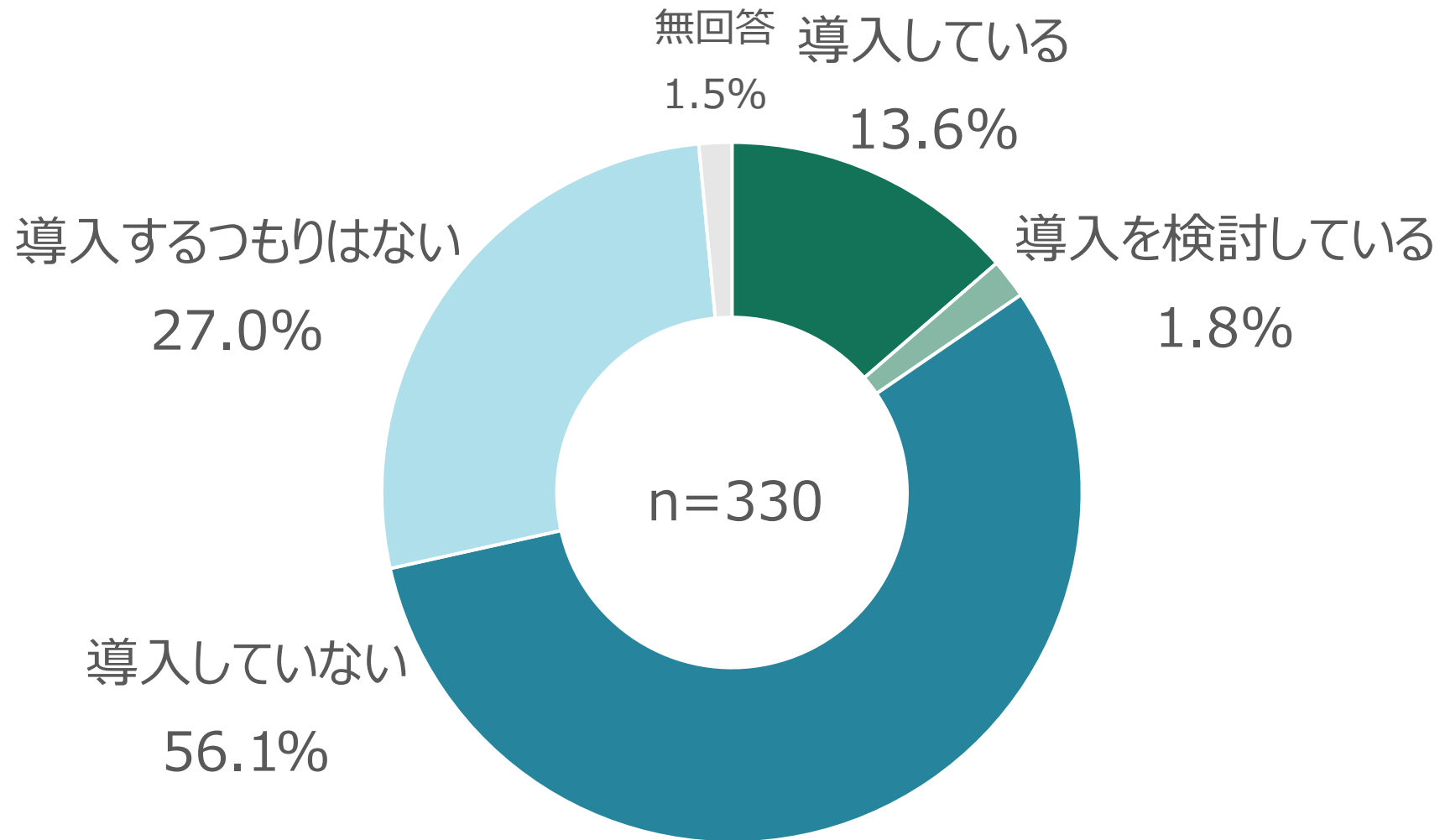
# 回答企業の属性 従業員数





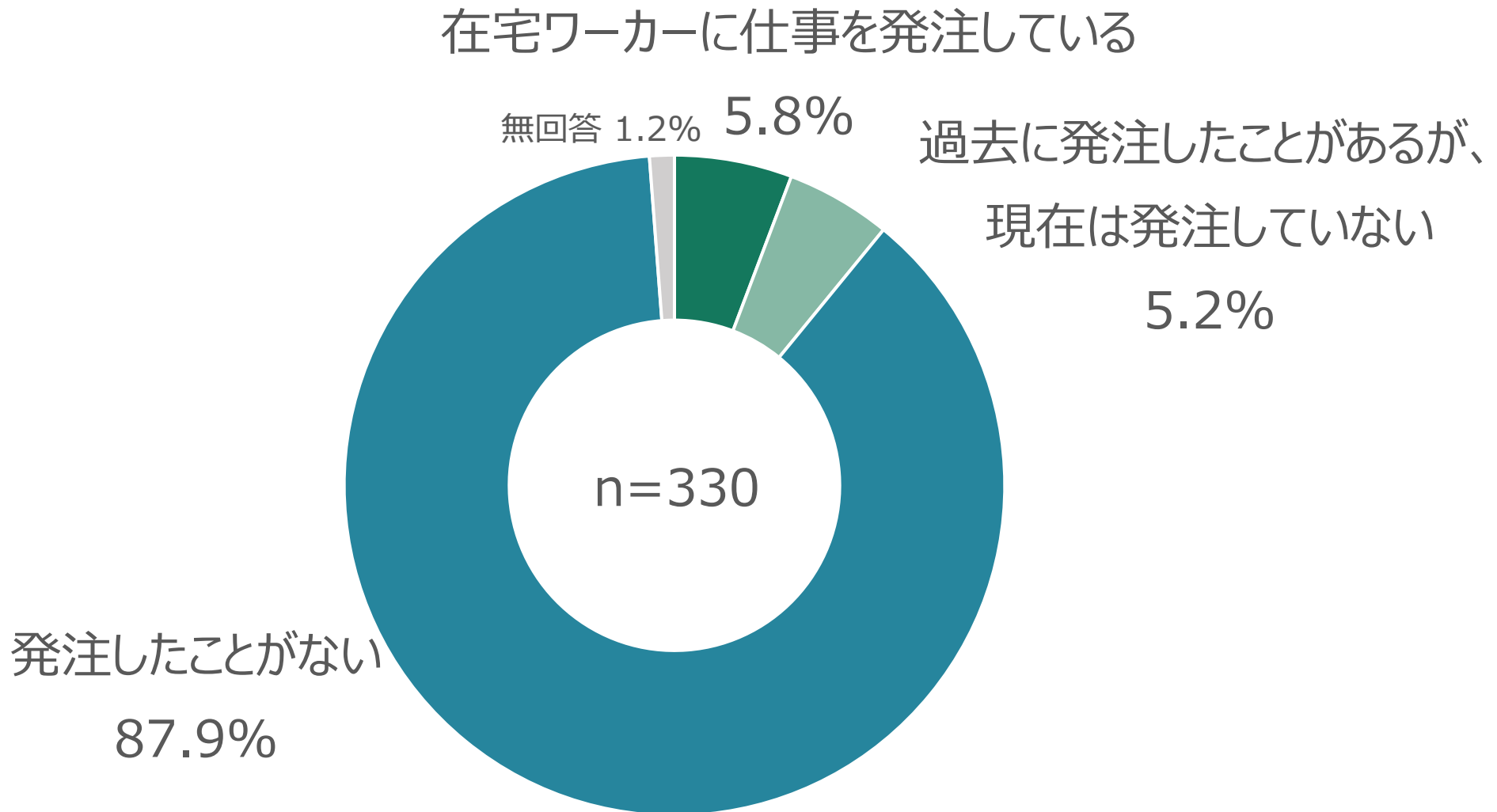
# 従業員向けテレワークの導入状況

問1 従業員向けにテレワークを導入していますか。



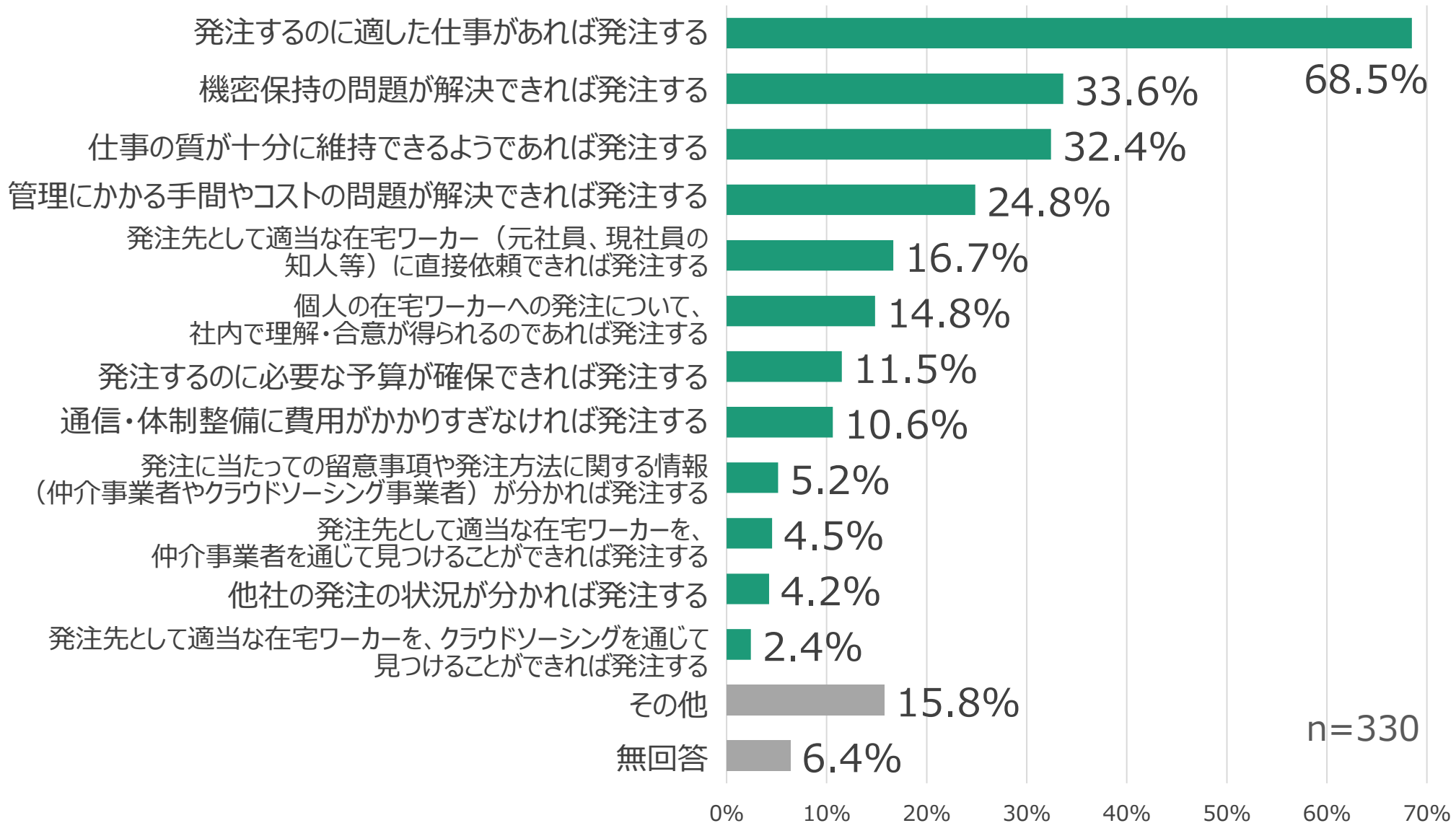
# 在宅ワーカーへの発注経験

問2 過去に、直接または仲介事業者やクラウドソーシングを通じて在宅ワーカーに仕事を発注したことがありますか。



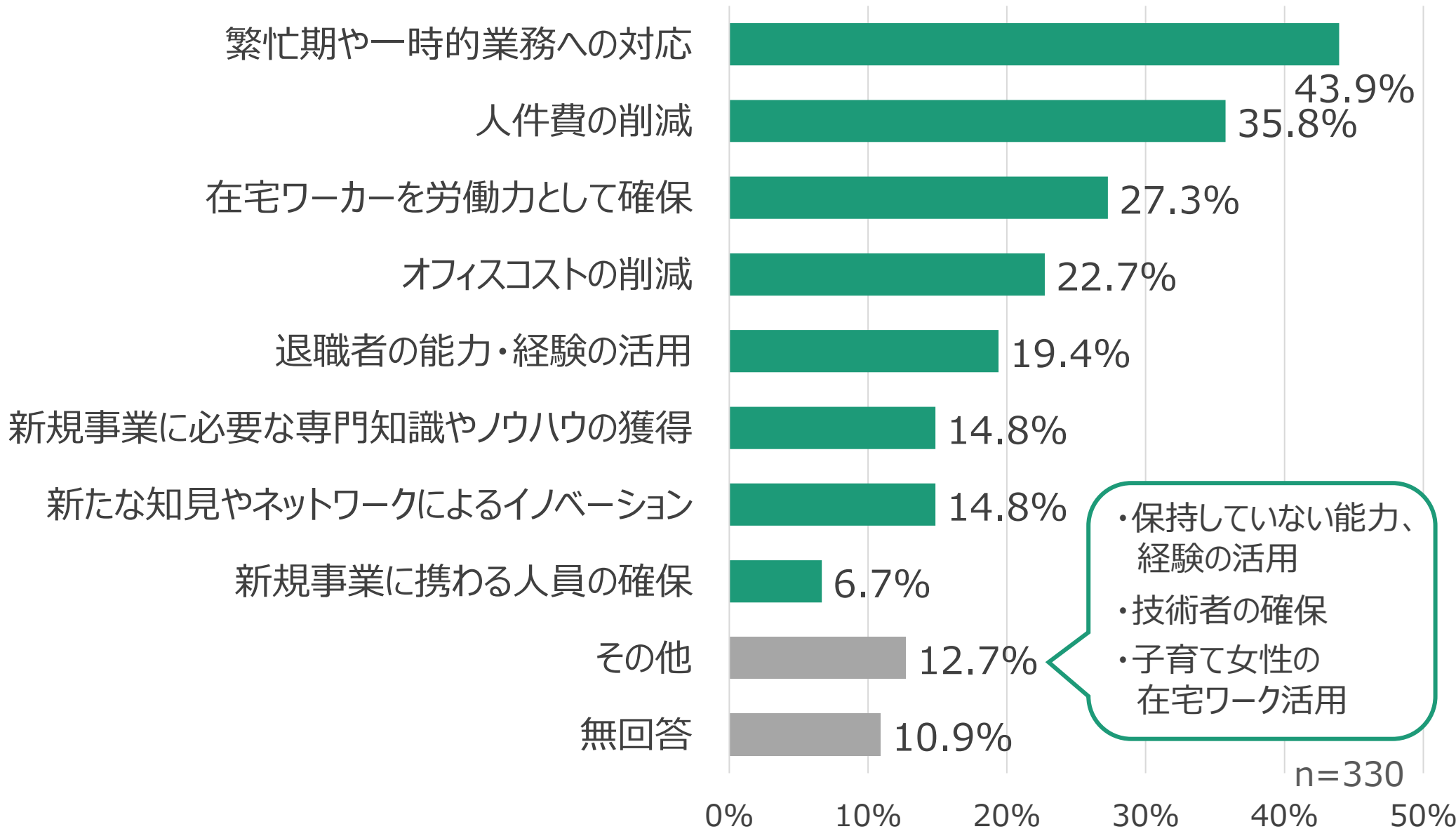
# 在宅ワーカーへの発注条件

問3 どのような条件が整えば、在宅ワーカーに仕事を発注する可能性がありますか。  
(5つまで選択)



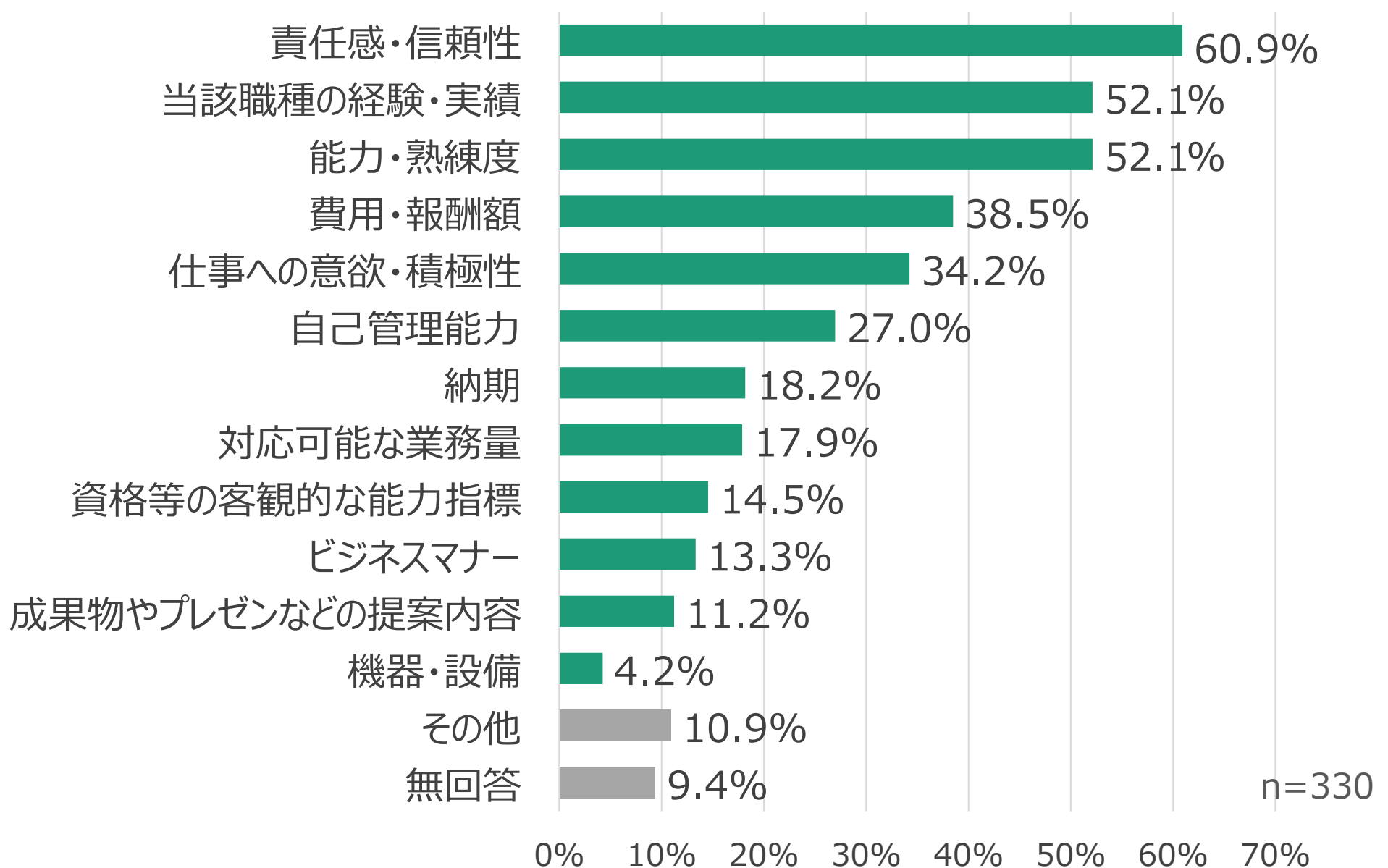
# 在宅ワーカーの活用で期待するメリット

問4 在宅ワーカーを活用する上で、期待するメリットは何ですか。(4つまで選択)



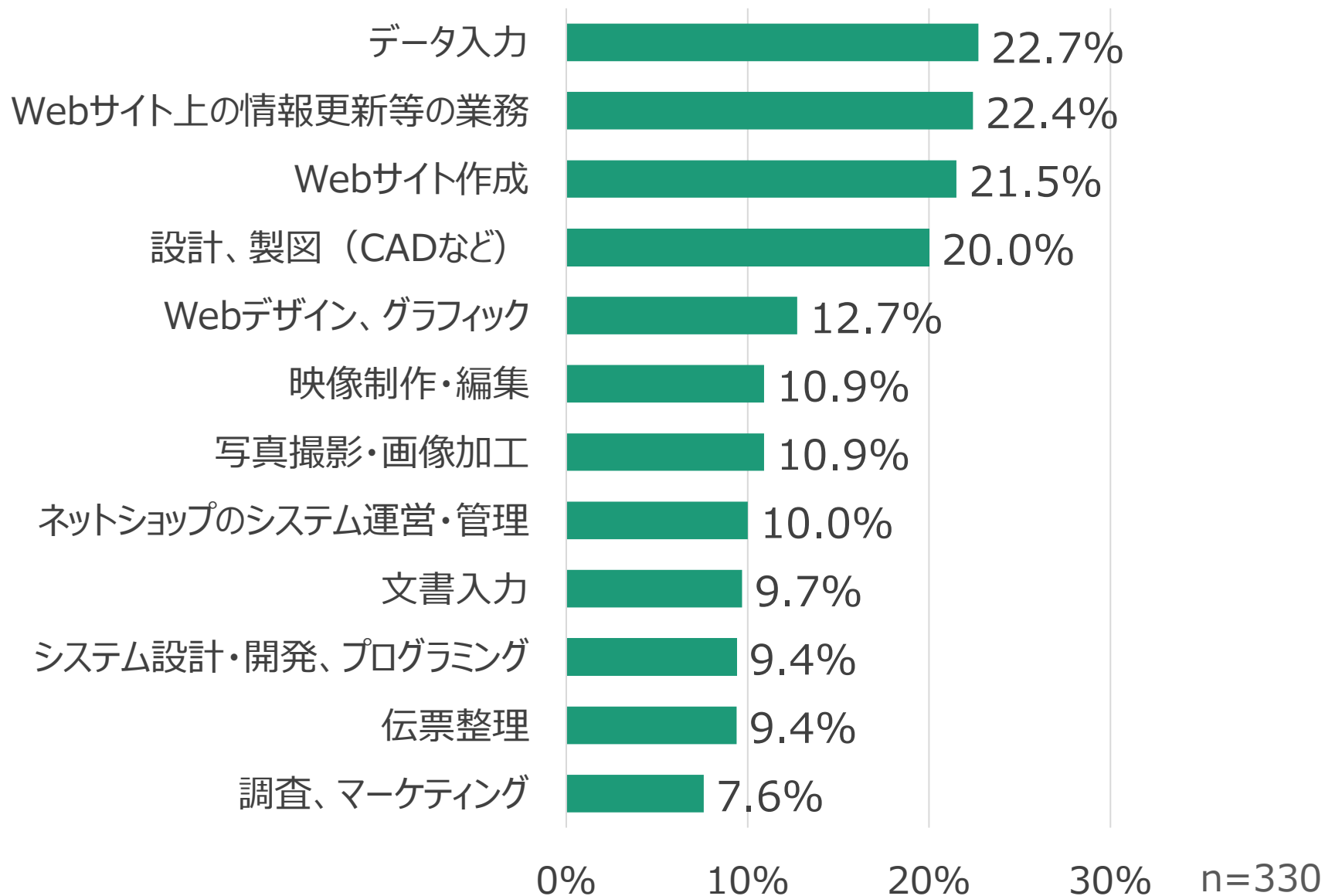
# 発注において重視する点

問5 在宅ワーカーへの発注において重視する（重視している）点（6つまで選択）



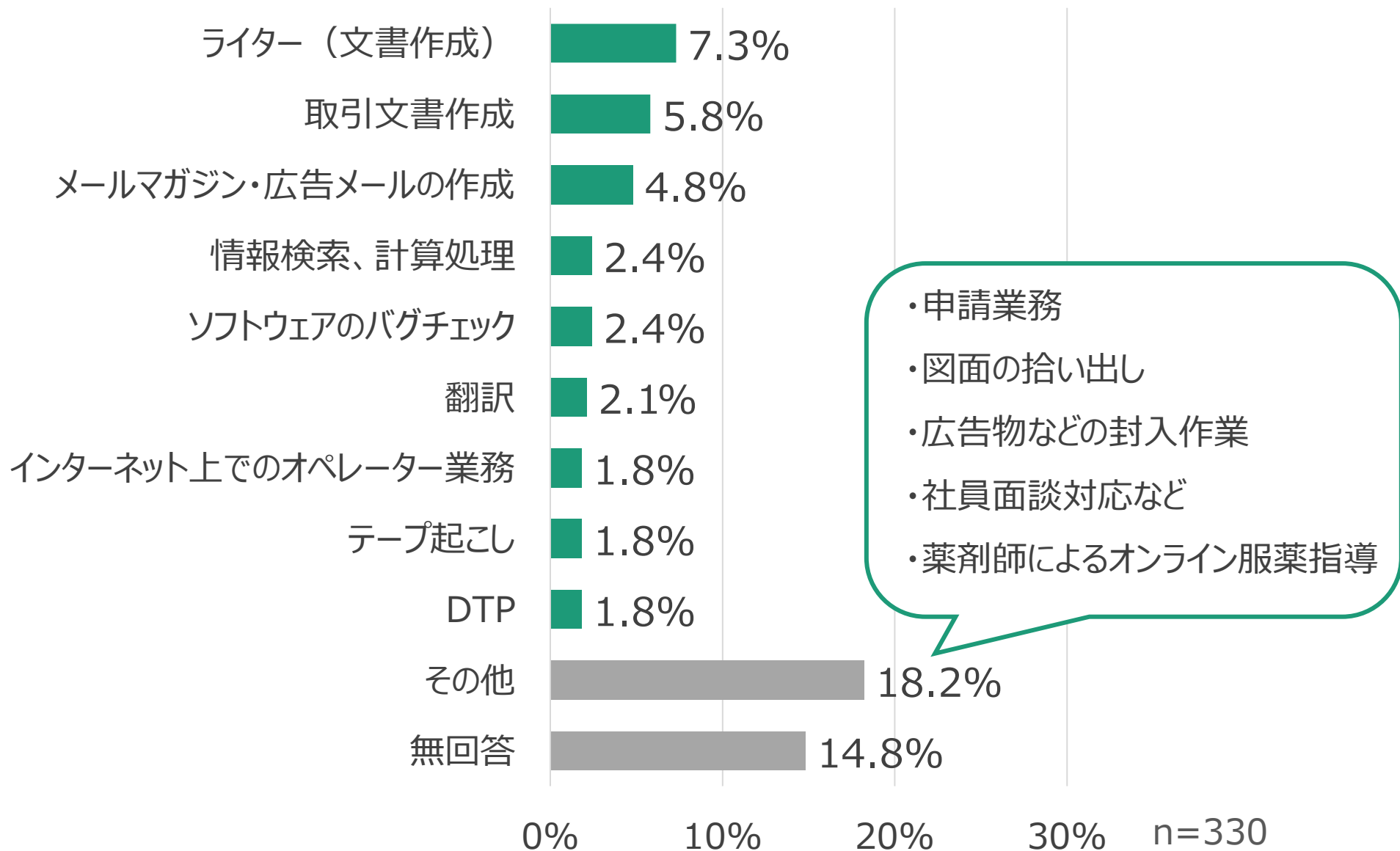
# 発注する（可能性のある）仕事 1/2

問6 在宅ワーカーへ発注している仕事、または、今後在宅ワーカーへ発注する可能性のある仕事  
(該当するものすべて選択)



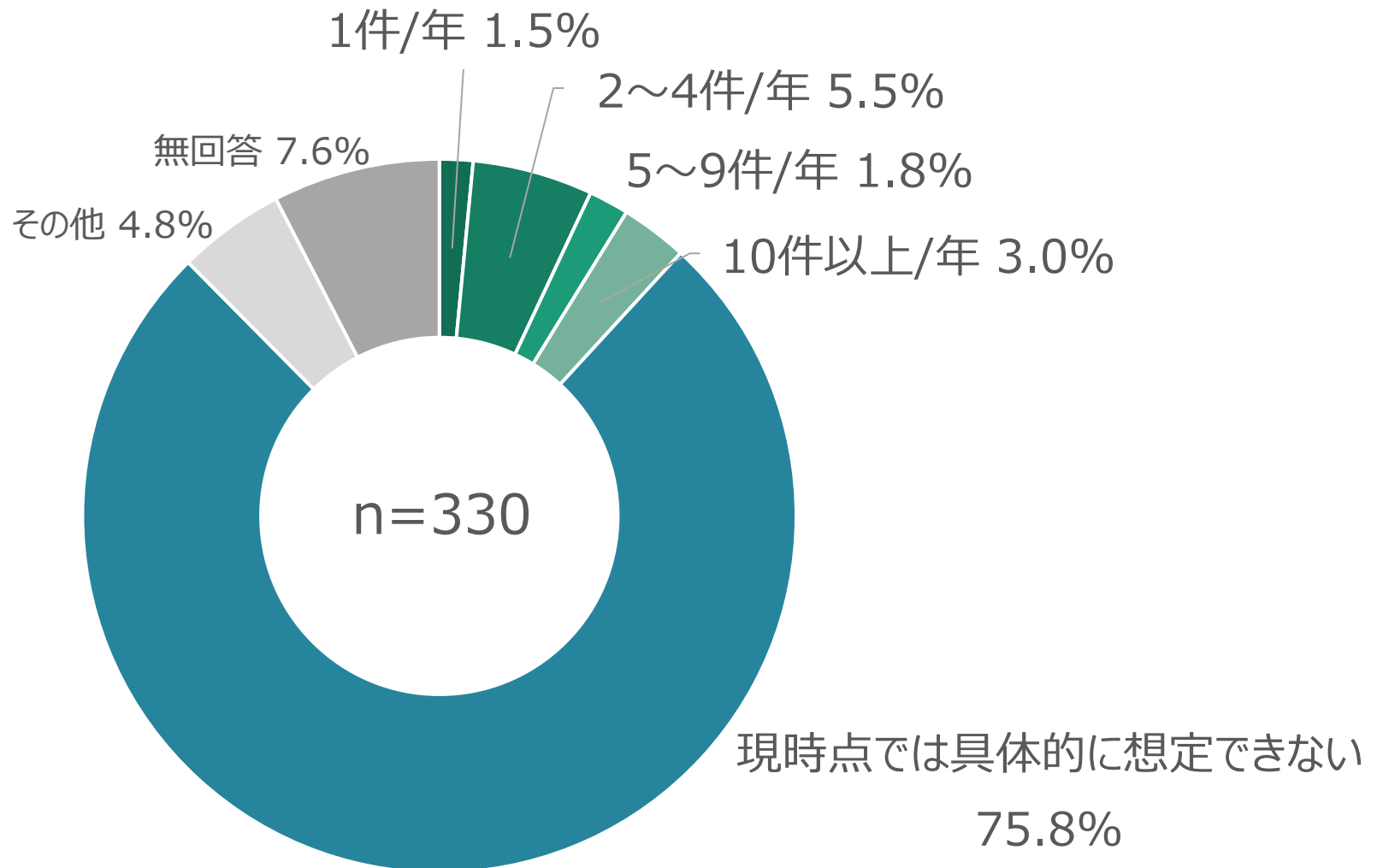
# 発注する（可能性のある）仕事 2/2

問6（つづき）



# 発注頻度（見込みを含む）

問7 在宅ワーカーに仕事を発注している頻度、または、今後発注したいと考える頻度を教えてください。

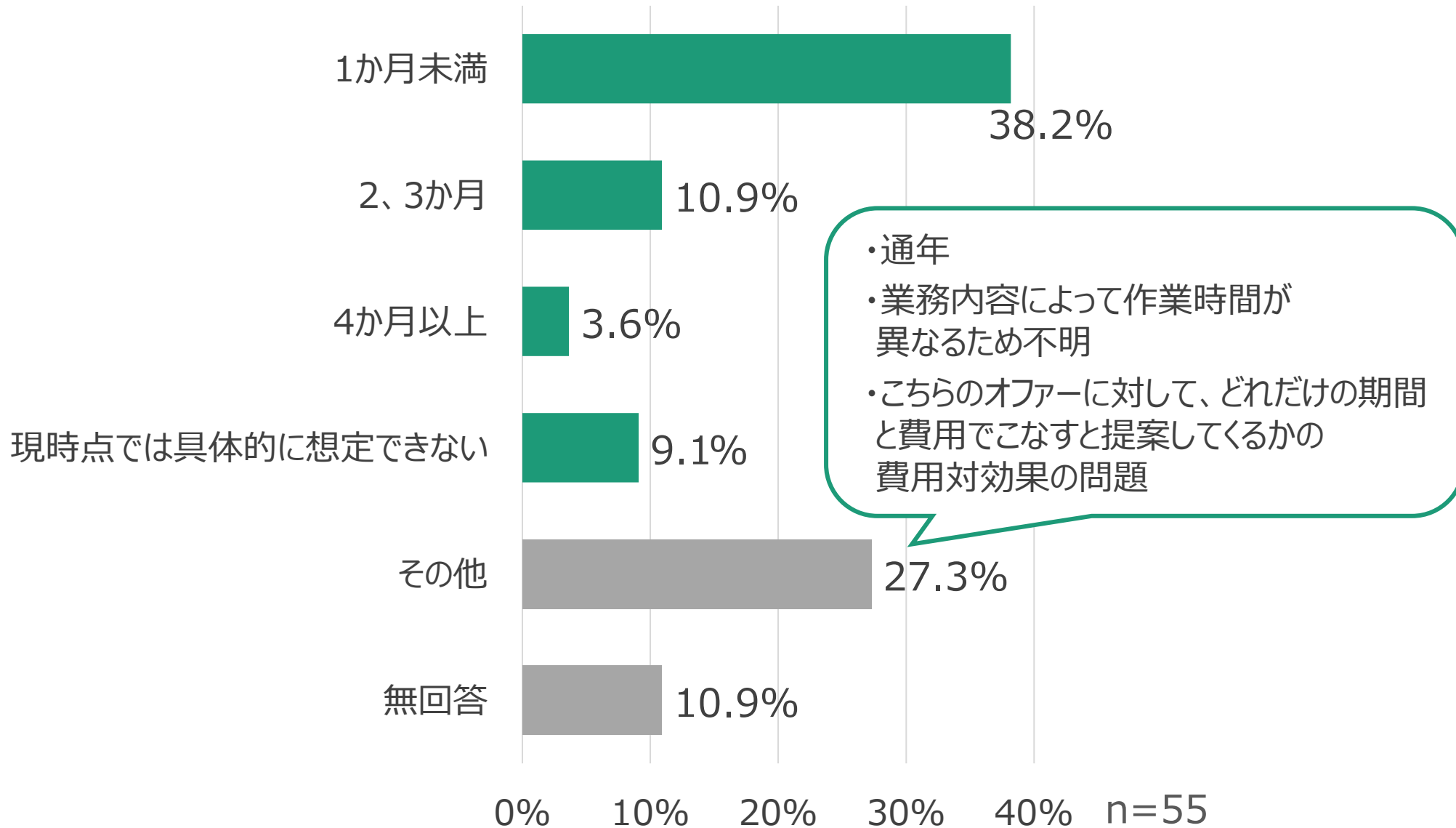




# 1件あたりの作業期間

問8 在宅ワーカーに発注している、または、今後発注したいと考える仕事について、1件あたりの必要な作業期間を教えてください。

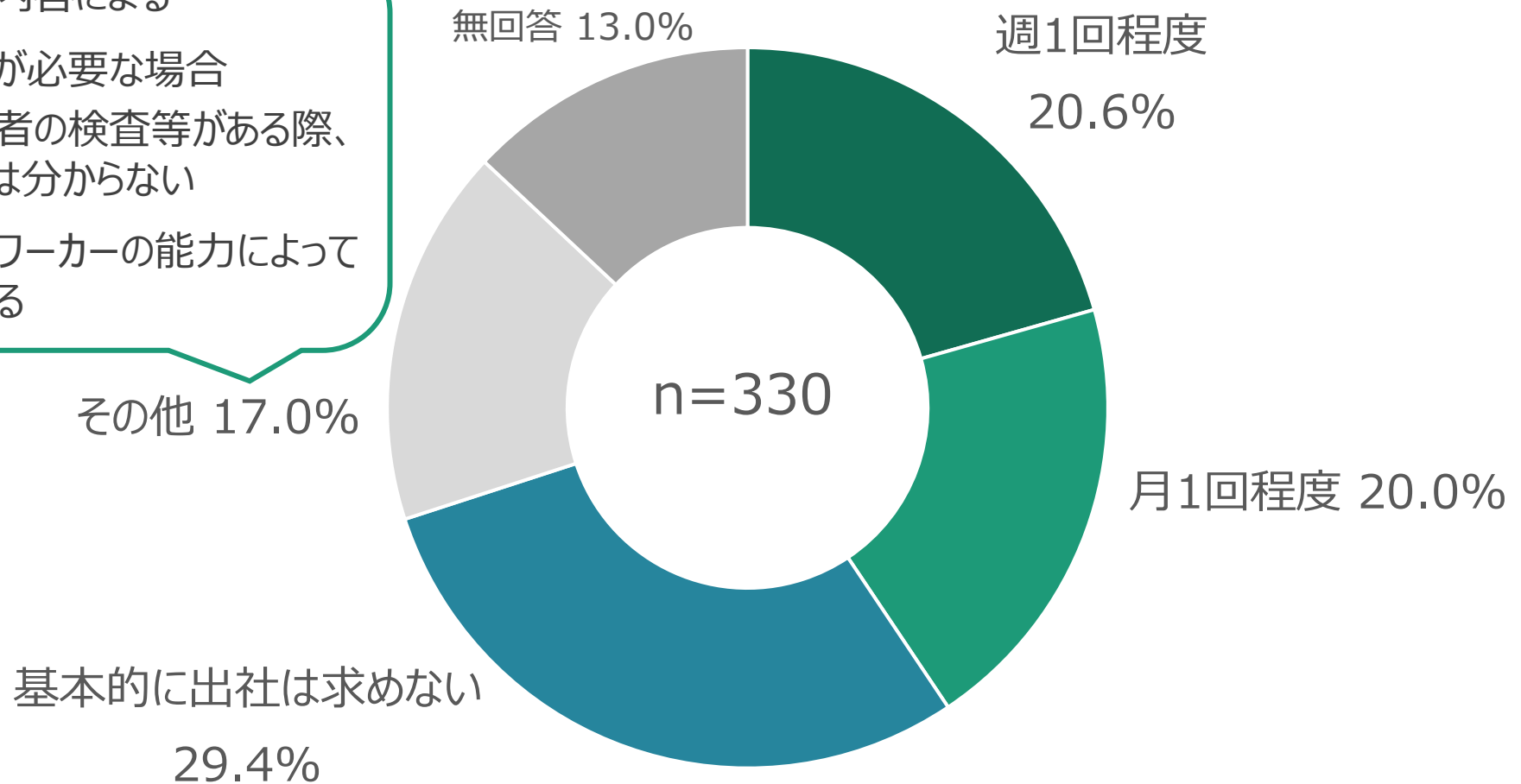
問7で「現時点では具体的に想定できない」を選択した場合及び無回答の場合、対象外



# 発注時に求める 出社回数

問9 在宅ワーカーに仕事を発注した際、打ち合わせから納品までに求める出社回数を教えてください。

- ・発注内容による
- ・納品が必要な場合
- ・発注者の検査等がある際、回数は分からない
- ・在宅ワーカーの能力によって異なる



# 発注において重視する点

問10 雇用ではなく、業務委託による外部人材（兼業・副業、個人事業主等）の活用に対するイメージ（該当するものすべて選択）

